

製品名: PAF65 α ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15692**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	68kDa

抗原情報

遺伝子名	TAF6L
別名	TAF6L; PAF65A; TAF6-like RNA polymerase II p300/CBP-associated factor-associated factor 65 kDa subunit 6L; PCAF-associated factor 65-alpha; PAF65-alpha
遺伝子 ID	10629.0
SwissProt ID	Q9Y6J9
免疫原	抗血清はヒト TAF6L 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

背景

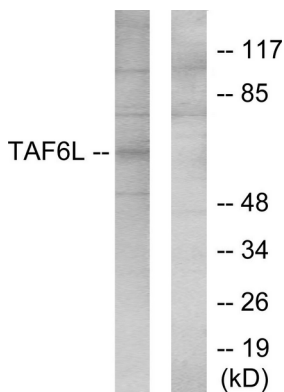
RNA ポリメラーゼ II による転写の開始には、70 種類以上のポリペプチドの活性が必要です。これらの活性を調整するタンパク質は転

写因子 IID (TFIID) です。TFIID はコアプロモーターに結合してポリメラーゼを適切な位置に配置し、転写複合体の残りの部分を組み立てるための足場として機能し、制御シグナルのチャンネルとして機能します。TFIID は、TATA 結合タンパク質 (TBP) と、TBP 関連因子 (TAF) として知られる進化的に保存されたタンパク質群で構成されています。TAF は、基礎転写に関与したり、コアクチベーターとして機能したり、プロモーター認識に機能したり、一般転写因子 (GTF) を修飾して複合体の組み立てと転写開始を促進したりする可能性があります。この遺伝子は、PCAF ヒストンアセチラーゼ複合体の構成要素であり、ヒストン様 TAF の 1 つと構造的に類似したタンパク質をコードしています。機能: PCAF 複合体の構成要素として機能します。PCAF 複合体は、ヌクレオソーム内でヒストンを効率的にアセチル化することができます。PCAF 複合体は、酵母 SAGA 複合体のヒト版と考えることができます。PTM: DNA 損傷時にリン酸化されます (おそらく ATM または ATR による)。類似性: TAF6 ファミリーに属します。サブユニット: PCAF 複合体は、TAF5、TAF5L、TAF6、TAF6L、TAF9、TAF10、TAF12、PCAF などの複数の TBP 関連因子 (TAFs)、そして TAD2L/ADA2、TAD3L/ADA3、SPT3 などの PCAF 関連因子 (PAF) から構成されます。STAGA 転写共活性化因子-HAT 複合体の構成要素であり、少なくとも SUPT3H、GCN5L2、TAF5L、TAF6L、SUPT7L、TADA3L、TAD1L、TAF10、TAF12、TRRAP、および TAF9 から構成されます。

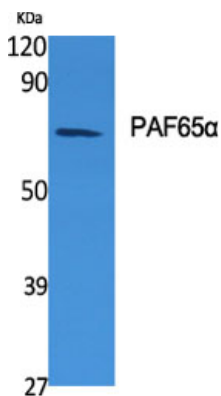
研究分野

基礎転写因子;

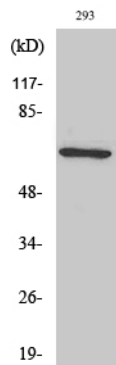
画像データ



TAF6L 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈した PAF65α ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



1: 1000 に希釈した PAF65 α ポリクローナル抗体を使用した 293 細胞のウエスタンブロット解析。